

【佳作】

コネクターハブ企業によるストラクチャードファイナンス

—中小企業再生スキーム—

中央大学 法学部

杉本 堯駿

〃 経済学部

蔭山 実萌

(要旨)

当論文では、中小企業の資金調達の多様化と充実を図るため「コネクターハブ企業によるストラクチャードファイナンス」を提案する。資金調達の多様化と充実を阻害する構造上の問題を証券化により克服するべく、中小企業の中でも取引先が豊富で信用力もあり、安定したキャッシュフローが見込めるコネクターハブ企業に注目した。同企業が新規事業計画の策定と参加企業の選定を行い、金融機関は計画発端から支援を行う。その上で事業とそれに関連した資産を当該企業から特別目的会社に移譲し、それを原資として証券化するストラクチャーを組み、資金調達を実現する。これによりリスクに挑める機会の提供、イノベーションの創造、ガバナンス機能の強化等が期待できる。更に企業価値の向上により金融機関の中小企業向けの貸出増加と預貸率の地域間格差を解消することで、資金循環を好転させる呼び水ともなる。その波及効果は日本経済の再生につながると確信する。